

介護あんしん 相談員だより

第28号 平成29年5月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えて気づいたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつかをご紹介します
(平成29年2月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：利用者さんの部屋に壁掛けの棚があり、そこに色々な作品を飾ってありますね。

施設：壁掛けの棚は、スタッフの手作りです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



スタッフの手作りで壁に棚を取り付けてもらって、利用者さんはとても喜ばれているそうです。

手先が思うように動かない利用者さんが、折り紙で小さな三角をたくさん折り、お内裏様やお雛様など、季節にあった作品を作って飾られているそうです。

飾り棚ができたことで、利用者さんの創作意欲にもつながり、しかも手や指のリハビリにもなるのではないのでしょうか。また、人に見てもらうことで、利用者さんの喜びや笑顔につながりそうですね。

また、他の施設でも実施されていると思いますが、こちらの施設でも、「ひとりひとりに担当スタッフがいて、他のスタッフとはまたひと味違った信頼関係を築かれているように見受けられる」と介護あんしん相談員から報告を受けております。

ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

相談員：インフルエンザなどの感染予防対策はどのような工夫をされているのですか？

施設：予防のために、職員全員が携帯の消毒液入れを持っています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では、介護を行うごとに手洗い、消毒をされているそうです。また、消毒液の出る加湿器を購入し、特に外来者の出入りの多いフロアに設置されています。特にインフルエンザの時期にはクリーンライザーやオゾン発生器での滅菌の実施や、万が一職員や職員家族がかかった際には、出勤停止措置をとられています。徹底した対応をされていますね。

他の施設でも、インフルエンザなどの感染症予防の取り組みはされていることと思います。体力が低下された高齢者が感染症になったらとても心配な状況になりますね。

また、感染症が施設内で複数名（職員含む）発症した場合には、鳥栖地区広域市町村圏組合への届け出をお願いいたします。

～施設スタッフさんの声より～

スタッフ：体操を昼食前の1回だけではなく、夕食前にも実施したいです。

施設：スタッフから、積極的な意見が出たのは嬉しく思います。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では、集団体操・嚥下体操を昼食前の1回から夕食前にも合わせて2回行うようになり、利用者さんの生活全般が意欲的になられたという報告がありました。

毎日の生活の一部として体操を取り入れ、口腔体操や身体を動かすことにより全身の血流も良くなり、食欲も出て身体の調子も良くなっているのではないのでしょうか。

スタッフさんも利用者さんが日に日に意欲的になれるのは、とても嬉しいでしょうね。利用者さんも自分のことは自分で少しでもできるようになり、元気な姿は周りの人を元気にする力があります。その姿を見て介護あんしん相談員も訪問するのが楽しみになれたそうです。

次に、他の施設のスタッフさんの工夫を紹介させていただきます。各居室の入口に、似顔絵のネームプレートが掲示されているそうです。まだ全員分はできていないようですが、似顔絵の得意なスタッフさんが時間のある時に作成されているそうです。利用者さんの喜んでいる笑顔を思い浮かべ、またそれを見た利用者さんも笑顔になりますね。ありがとうございます。



わたしたち、介護あんしん相談員は一人一人の小さな思いを、お伝えします。